

とちぎの元気な森づくり県民税に関する 各意向等調査結果概要

- とちぎネットアンケート
- とちぎの元気な森づくり県民税に関する市町意向調査
- とちぎの元気な森づくり県民税に関する関係団体意向調査

令和4(2022)年11月
環境森林部環境森林政策課

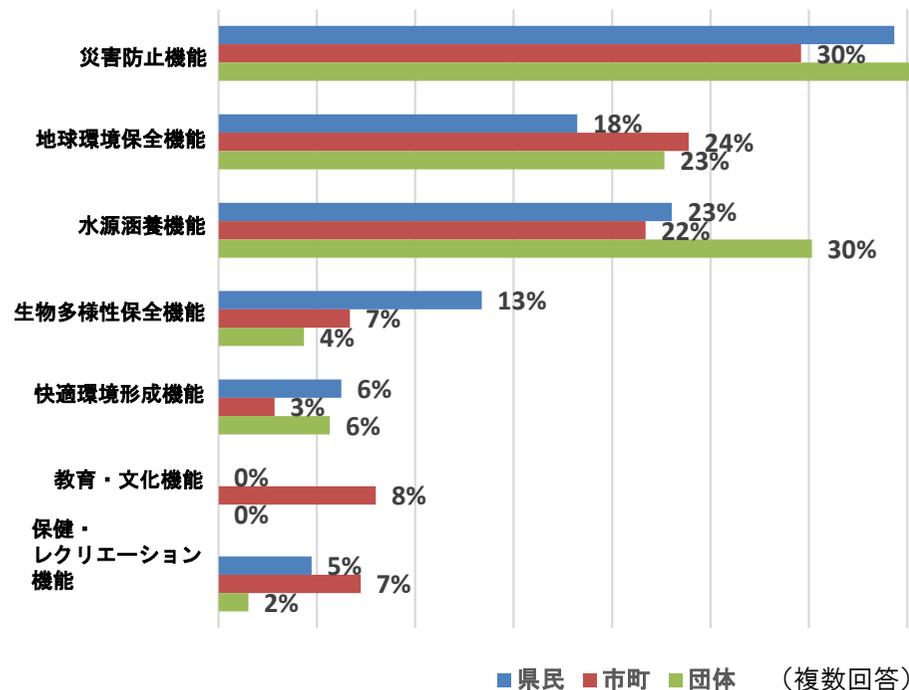
とちぎの元気な森づくり県民税に関する各意向等調査結果概要

区分	対象者・回答数	実施時期
とちぎネットアンケート (県民)	448名 (約47%)	令和4(2022)年8月
市町意向調査	25市町	令和4(2022)年7月
関係団体意向調査	経済・消費者・林業 森林ボランティア 計26団体 (約87%)	令和4(2022)年7月

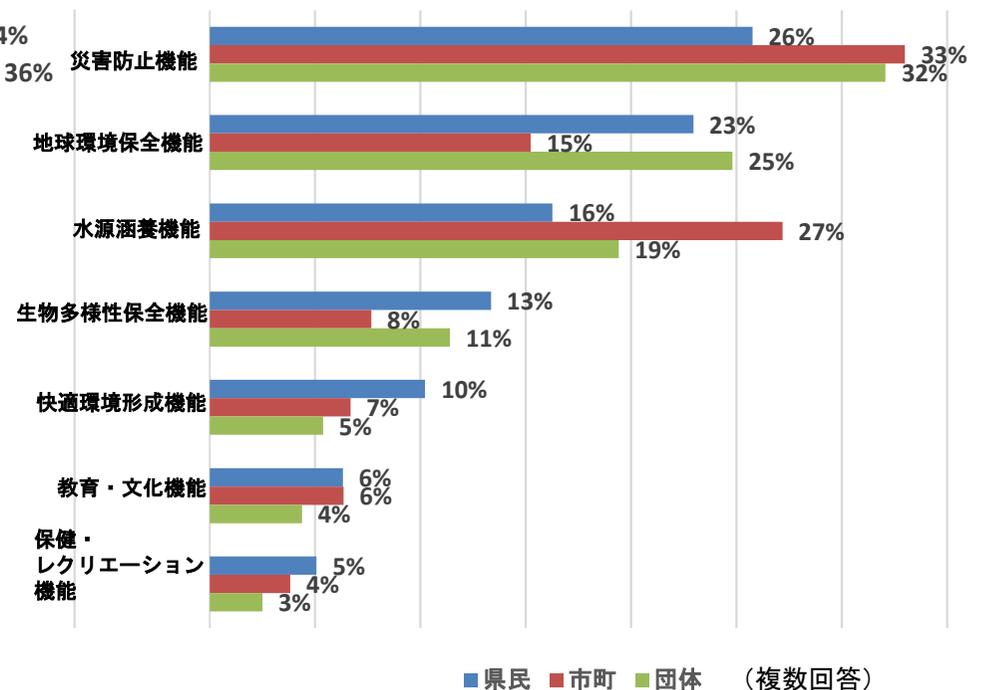
1 森林の公益的機能の重要度

➤ 県民・市町・関係団体への調査では、県民等が重要と考える森林の機能は「災害防止機能」、「地球環境保全機能」、「水源涵養機能」が令和元年度に引き続き上位【図表1・2】

図表1 県民等が考える森林の公益的機能の重要度 (R4)



図表2 県民等が考える森林の公益的機能の重要度 (R1)



※最も重要と考える取組、2番目に重要と考える取組についてそれぞれ補正 (1.5倍、1.3倍)

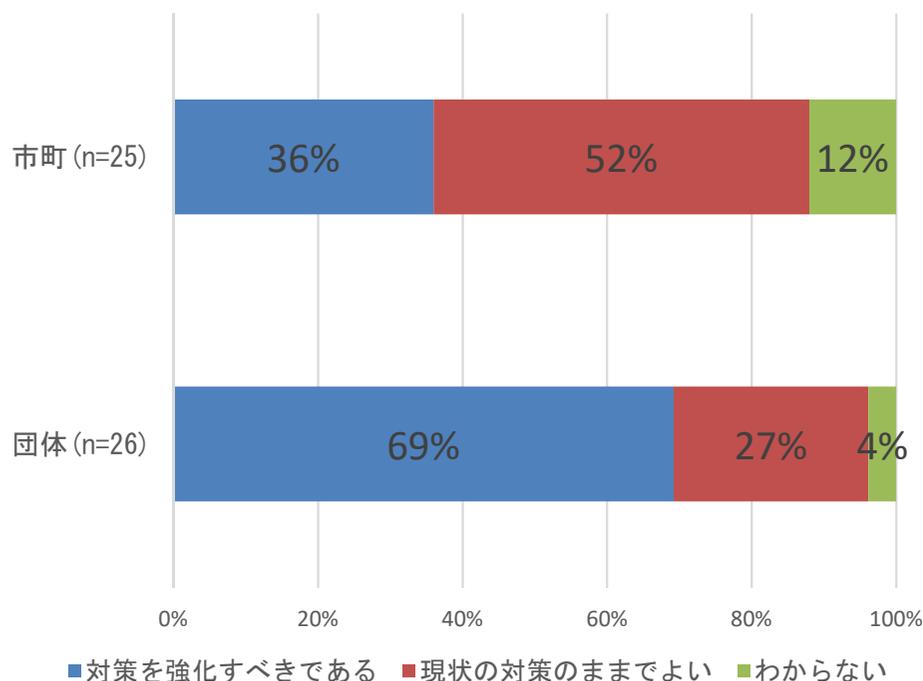
資料：栃木県「とちぎネットアンケート (令和4年8月)」
資料：栃木県「とちぎの元気な森づくり県民税に関する市町・団体意向調査票」 (令和4年7月)

資料：栃木県「とちぎの森林・林業に関する県民意識調査」 (令和元年10月)
資料：栃木県「とちぎの元気な森づくり県民税に関する市町村長・団体等意向調査票」 (令和元年10月)

2 第2期とちぎの元気な森づくり県民税事業（森林の若返り促進）

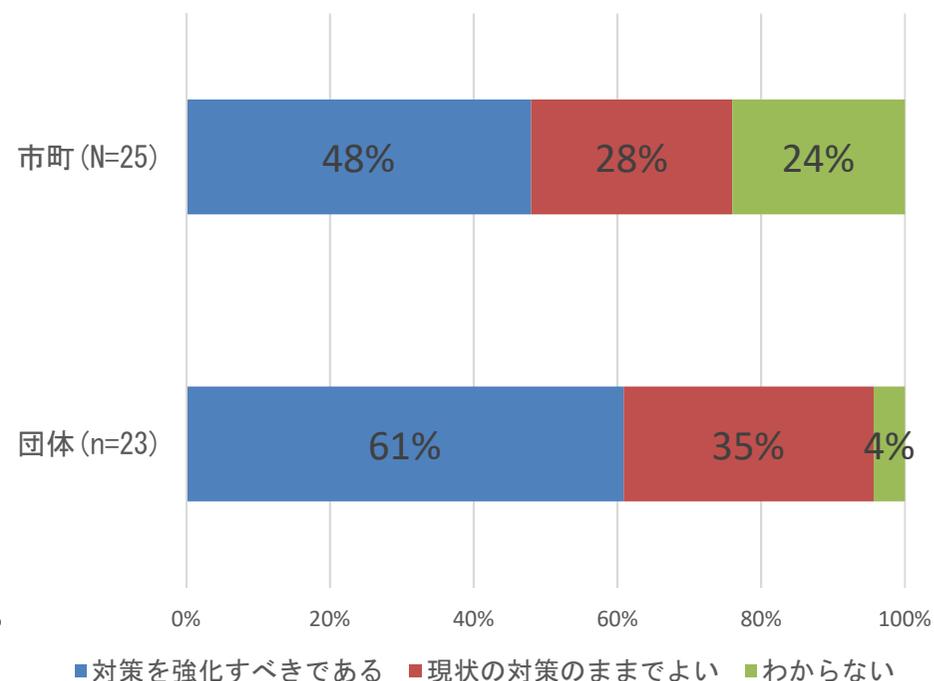
- 関係団体への調査では、森林の若返り促進策を強化すべきであるとの回答がR元年度から増加し約7割を占めた。【図表3・4】
- 一方で、市町への調査では、R元年度と比較して現状の対策を推進すべきという回答が増加した。【図表3・4】

図表3 市町等が考える森林の若返り促進（R4）



資料：栃木県「とちぎの元気な森づくり県民税に関する市町・団体意向調査票」
(令和4年7月)

図表4 市町等が考える森林の若返り促進（R元）

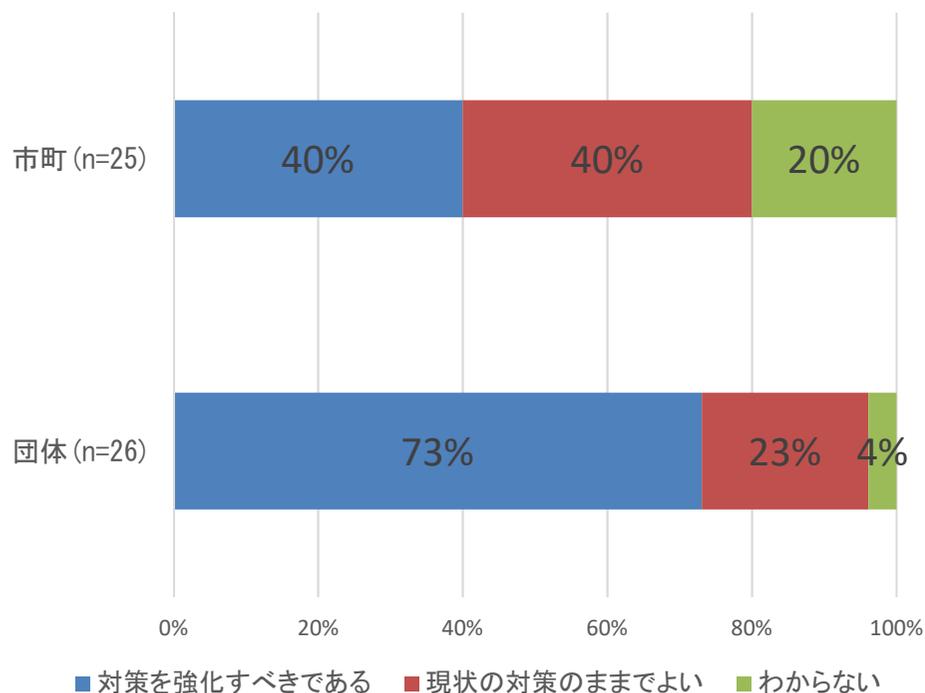


資料：栃木県「とちぎの元気な森づくり県民税に関する市町村長・団体等意向調査票」
(令和元年10月)

3 第2期とちぎの元気な森づくり県民税事業（シカ等による獣害対策）

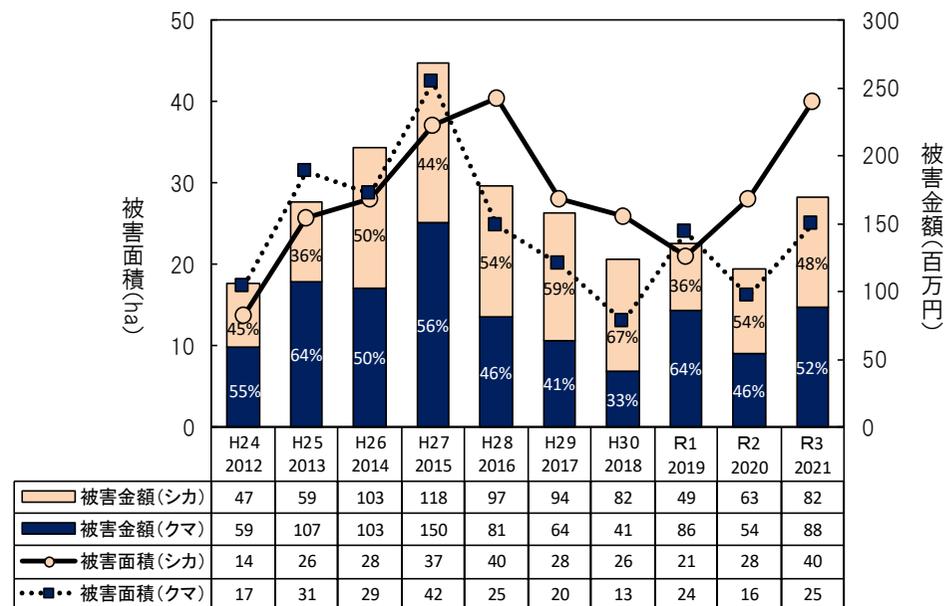
- 関係団体への調査では、獣害対策を強化すべきであるとの回答が約7割を占めた。【図表5】
- シカによる苗木の食害やクマによる皮剥ぎ被害は依然として高い水準で推移【図表6】

図表5 市町等が考えるシカ等による獣害対策



資料：栃木県「とちぎの元気な森づくり県民税に関する市町・団体意向調査票」
(令和4年7月)

図表6 シカ等による被害面積・被害金額

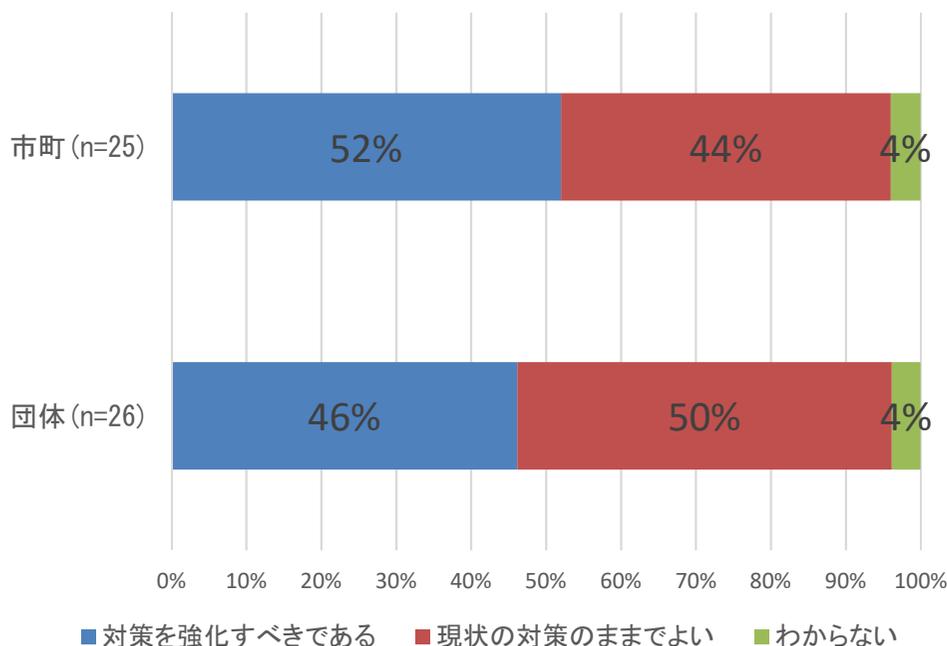


資料：栃木県環境森林部調べ
(令和4年6月)

4 第2期とちぎの元気な森づくり県民税事業（里山林整備支援）

- 市町・関係団体への調査では、里山林整備支援を強化すべきであるとの回答が約半数を占めた。【図表7】
- また、16市町・団体から里山林整備事業の交付期間の延長や交付期間満了後の対応等について検討すべきという意見があった。

図表7 市町等が考える里山林整備



資料：栃木県「とちぎの元気な森づくり県民税に関する市町・団体意向調査票」
(令和4年7月)

図表8 交付期間が満了する団体数

R3	13
R4	172
R5	8
R6	9
R7	1
総計	203

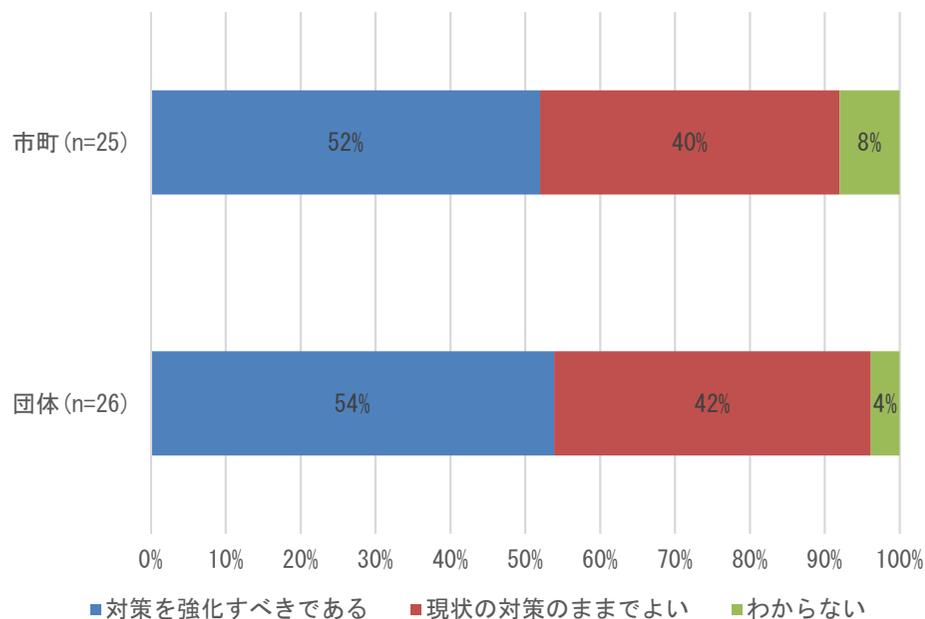
令和4年度で、現在支援を受けている団体の約85%が交付期間満了

資料：栃木県環境森林部調べ（令和4年8月）
里山林管理事業における交付期間が満了する団体数

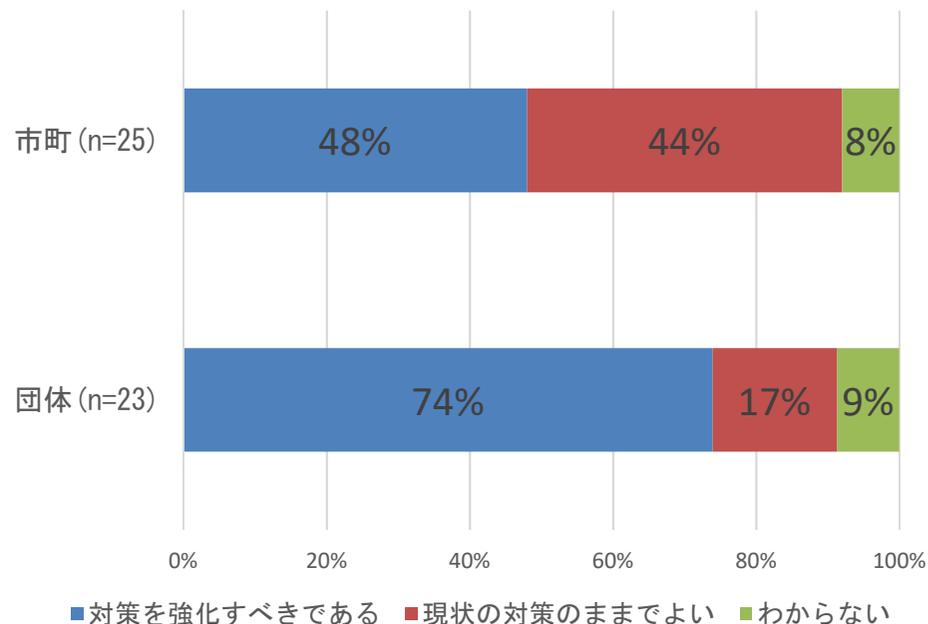
5 第2期とちぎの元気な森づくり県民税事業（森林所有対策）

- 市町への調査では、森林所有対策を強化すべきであるとの回答が令和元年度と同様に約半数を占めたが、関係団体への調査では、現状の対策のままでよいという回答が増加した。
【図表9・10】

図表9 市町等が考える森林所有対策 (R4)



図表10 市町等が考える森林所有対策 (R元)



資料：栃木県「とちぎの元気な森づくり県民税に関する市町・団体意向調査票」
(令和4年7月)

資料：栃木県「とちぎの元気な森づくり県民税に関する市町村長・団体等意向調査票」
(令和元年10月)